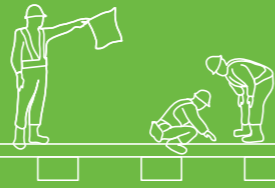


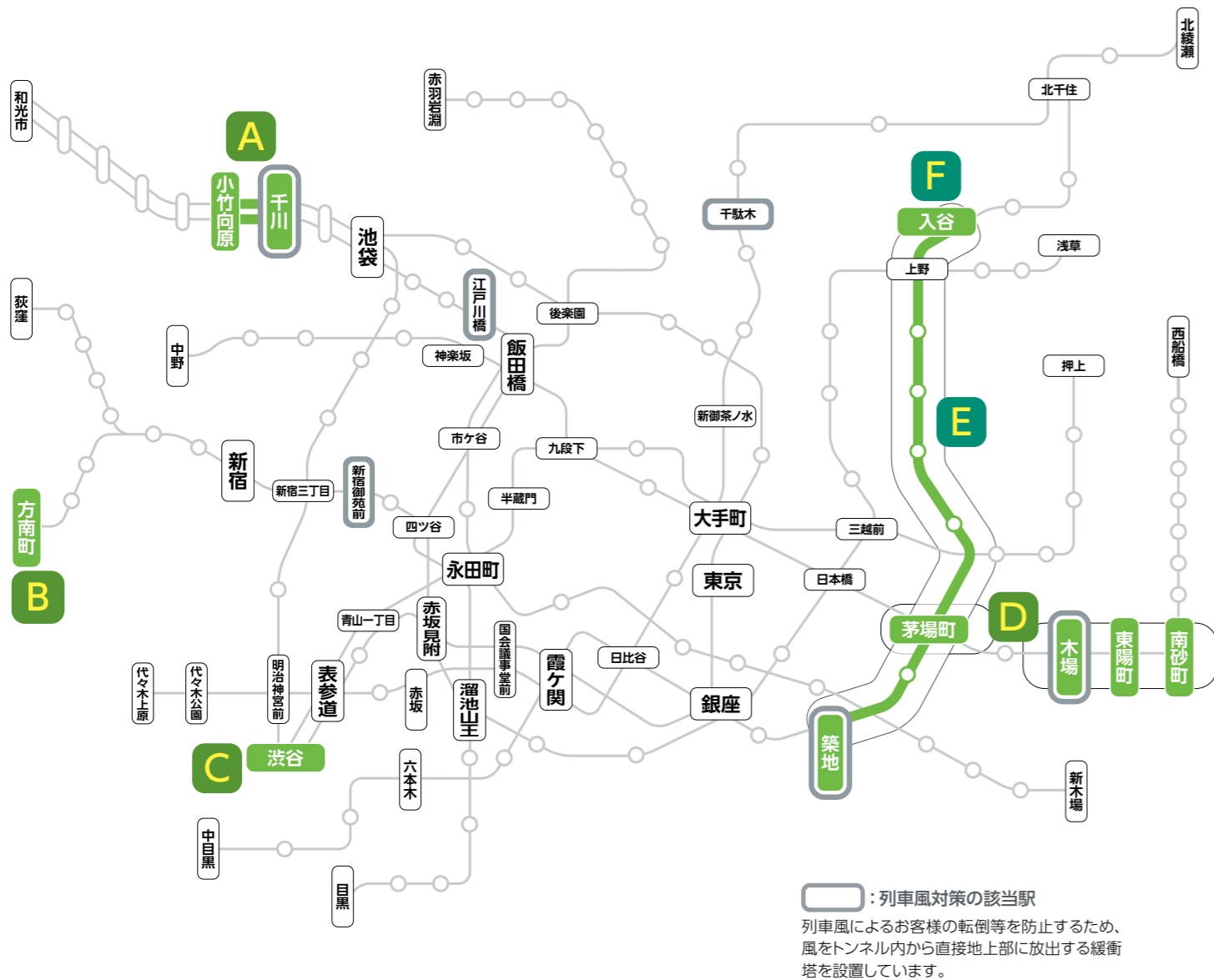
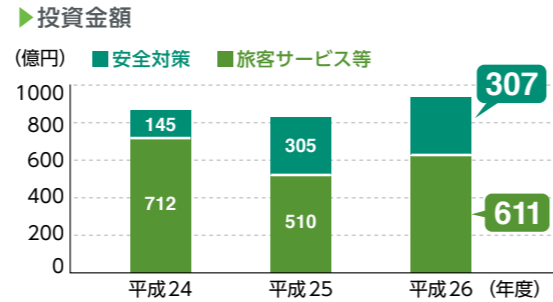
安全設備・輸送改善

様々な設備投資や日頃のオペレーションによって
安全水準の維持・サービス向上に取り組んでいます。



安全・サービスへの投資

様々な設備や施設の整備・改良を、
計画的に実施しています。



Topics 1

新型車両の導入

銀座線に1000系を48両(8編成)導入しました。



銀座線に増備された
1000系車両

Topics 2

転落検知マットの設置

銀座線(上野広小路駅、新橋駅、虎ノ門駅、外苑前駅)、
日比谷線(南千住駅、恵比寿駅)、東西線(早稲田駅、
飯田橋駅、九段下駅、南砂町駅※、西船橋駅)におい
て、安全性向上のため転落検知マットを設置しました。

※東西線南砂町駅の転落検知マットの設置は平成28年度運用開始
予定です。



転落検知マット

Topics 3

転落防止ゴムの設置

銀座線(新橋駅、虎ノ門駅、溜池山王駅、赤坂見附駅、
外苑前駅)、日比谷線(南千住駅、三ノ輪駅、上野駅、
日比谷駅、神谷町駅、六本木駅、広尾駅、恵比寿駅)、
東西線(早稲田駅)、千代田線(赤坂駅、乃木坂駅)におい
て、安全性向上のため転落防止ゴムを設置しまし
た。



転落防止ゴム

番号	線別	駅名	目的	具体的施策
A	有楽町線・副都心線	小竹向原駅～千川駅	輸送の安定化	連絡線設置による立体交差化(平成27年度完成予定)
B	丸ノ内線	方南町駅	混雑緩和	ホーム延伸(平成31年度完成予定)
C	銀座線	渋谷駅	混雑緩和・利便性向上	ホーム移設・拡張等(平成33年度完成予定)
D	東西線	茅場町駅	混雑緩和・遅延防止	ホーム延伸・拡幅
		木場駅		ホーム拡幅
		東陽町駅		出入口新設
		南砂町駅		線路・ホーム増設
E	日比谷線	入谷駅～築地駅間	浸水対策	新型浸水防止機設置(平成27年度完成予定)
F	日比谷線	入谷駅	火災対策	排煙設備整備(平成27年度完成予定)
—	日比谷線 東西線 千代田線 有楽町線 半蔵門線	一部の駅	震災対策	地震発生後の早期運行再開に向けた耐震補強工事 補強対象本数=約1200本 平成26年度末時点補強完了数=755本 (平成27年度完成予定)
—	全線	整備対象96駅	安全性向上	ホーム緑端警告ブロック整備完了



駅と列車の安全

お客様を安全にお運びするための管理・整備等を行っています。

総合指令所

総合指令所では、運輸指令、車両指令、電力指令、施設指令の4つの指令と情報担当をワンフロアに配置し、それぞれの情報を共有して一元的な輸送管理を行っています。事故発生時には、関係する列車、駅などに情報を提供し、対策本部と一体となった処置を行います。また、首都直下地震等に備え、総合指令所の機能・安全性のさらなる強化を進めています。



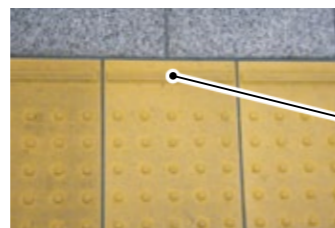
総合指令所

ホーム転落・接触防止

お客様のホームからの転落事故や、列車との接触事故を防止する対策として、ホームドアや可動ステップ等の設置を進めているほか、お客様の転落時の安全確保にも取り組んでいます。



ホームドア
ホームからのお客様の転落、線路内への侵入、列車との接触等を防ぎます。整備率：約47% (全179駅中84駅整備済)



ホーム緑端警告ブロック
視覚障害者の方がよりわかりやすく歩きやすい誘導用ブロックの整備を進めています。内方線がホームの内側を示します。



可動ステップ
ホームと車両の隙間を減らす可動ステップの設置を推進しています。ステップは、普段ホームの下に格納され、車両ドア・可動式ホーム柵の開閉操作に連動して動作します。



転落防止警報装置
ホームと車両の間が大きな一部の駅には、高輝度LED点滅や警報音声による案内を付加した転落防止警報装置を設置しています。



転落防止ゴム
ホームと車両の隙間を減らすことで線路内への転落を防ぎます。



転落検知マット
ホームと車両の間から線路内への転落を検知した場合、非常停止合図器と連動して列車を停止させます。

車両や鉄道施設の点検・保守

安全運行を支えるために、車両や線路、信号設備、電力設備等の鉄道施設を、技術部門が技術基準に基づいて計画的に点検・保守を行い、適切な状態を維持しています。



線路点検の様子

さらなる安全・新たな可能性

○大開口ホームドアの実証実験

車両のドア位置及び幅が異なる列車が運行される路線への大開口ホームドアの早期設置に向けて、東西線妙典駅で実証実験を実施しています。その結果を踏まえ、都心部駅における試験実施を検討します。

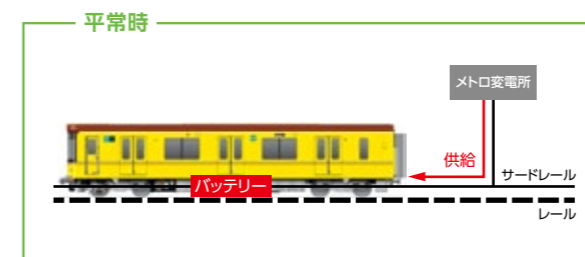


実証実験の様子

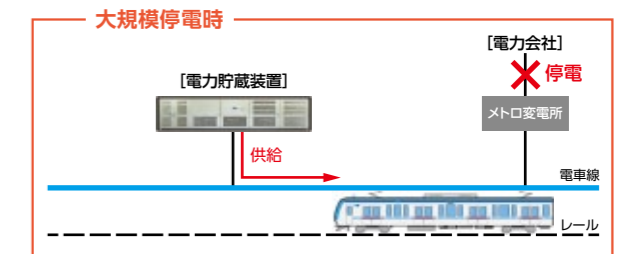
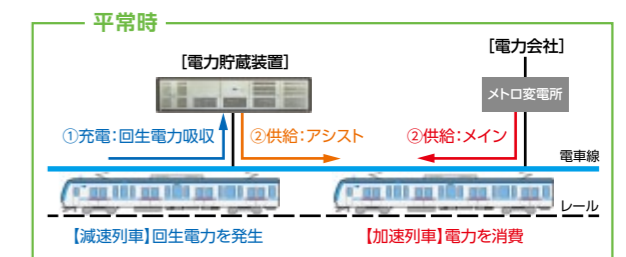
○非常用バッテリーの整備

大規模停電が発生したときに、駅間に停止した列車を最寄駅まで走行できるようにするため、非常用バッテリーを整備しています。銀座線において、車両に走行用バッテリーを搭載するほか、東西線等の長大橋りょう区間において、地上側への走行用バッテリーの設置を推進します。

▶車両に搭載する非常用バッテリーイメージ



▶長大橋りょうなど地上に設置する非常用バッテリーイメージ



COLUMN お客様への啓発

東京メトロの安全対策や、災害発生時などの緊急時においてお客様の行動に関してご留意いただきたいことなどを記載した「安全ポケットガイド」を各駅に備え付け、手に取っていただけるようにしています。

平成26年度は、新たに「安全ポケットガイド多言語版」【英語・韓国語・中国語(簡体字・繁体字)】を作成しました。



安全ポケットガイド



安全ポケットガイド多言語版